

政府主催 2015年度情報化月間記念式典を開催

情報化促進に貢献した個人・企業等を表彰

政府主催の「2015年度情報化月間記念式典」が10月27日、東京・千代田区のイイノホールで開催された。

我が国の健全な情報化を推進するために、通商産業省（現・経済産業省）をはじめとする関係省庁が連携し、1972年に始まった情報化月間は、今年で44年目。記念式典には、経済産業省から星野剛士大臣政務官、総務省から輿水恵一大臣政務官、文部科学省から堂故茂大臣政務官、国土交通省から宮内秀樹大臣政務官が出席した。

表彰に先立ち、星野剛士経済産業大臣政務官は次のように挨拶した。

「あらゆるものがインターネットにつながるIoT時代が本格的に到来する中、データを活用した新たなビジネスモデルが次々と生まれております。本年6月に閣議決定されました世界最先端IT国家創造宣言においては、データを活用した新たなビジネスモデルこそが、産業が有する経済能力を評価し、成長する社会を実現することとしております。このため経済産業省では、総務省と連携して、産学官からなるIoT推進コンソーシアムを立ち上げました。政府としても、日本企業がIoTを活用した未来投資を積極的に行えるよう環境整備をしております。皆様には新たなビジネスの担い手となっていただき、IoT時代における新たなビジネスチャンスをつかんでい

ただきたいと強く期待しております」

続いて情報化促進貢献表彰が行われ、受賞者を代表して、一般社団法人組込みイノベーション協議会理事長鶴保証城氏が、「IoT時代は産業構造の大きな変換を予想させ、第四次産業革命といわれる

所以であります。第四次産業革命を成功に導くためには多くの課題を解決しなければなりません。システムの横断的・共通的なプラットフォーム、あるいは標準化、セキュリティ、信頼性等であります。何卒、今後ともご指導とご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます」と謝辞を述べた。

最後に「攻めのIT経営」中小企業百選の表彰が行われ、ITの効果的な活用に積極的に取り組み成果を上げている中小企業のうち33社が表彰された。

（肩書きは式典当時）



挨拶する星野剛士
経済産業大臣政務官